

専門・認定看護師会ニュースレター

専門・認定看護師会では、専門・認定看護師の活動報告や、各領域の専門知識をワンポイントアドバイスでお知らせするため、ニュースレターを毎月発刊しています。

皆さんも特定+認定看護師として働きませんか？

2025年に団塊の世代が75歳以上になり、国民の5人に1人が75歳以上になるといわれています。厚労省は、医療提供の改革が必要と考え、特定行為に係る看護師の研修制度を導入しました。特定行為とは、今まで医師が行っていた行為を「手順書」※1と呼ばれる包括的指示のもと実践的な思考力と判断力、高度な知識と技術をもって研修を修了した看護師が実践を行う行為のことです。特定行為は、38行為21区分あり、急性期から在宅医療にまで幅広く活用されています。

私ができる特定行為は、「創傷管理分野」である3区分5行為です。

特定行為を実施することを目的とするのではなく、褥瘡管理者(皮膚・排泄ケア認定看護師)として

活動する中で、患者を多角的にアセスメントし、特定行為実践の必要性を判断していきます。専門分野である「褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去」や「創傷に対する陰圧閉鎖療法」の関わりが中心になると思います。

【活動場面①】



壊死組織があり、創閉塞が望めず、感染のリスクがある。壊死組織を除去することで早期に良性の肉芽となり、早期創収縮が望める。

<手順書の対象とする範囲内で実施可能>

- ・薬剤により血圧130台に安定、凝固系のデータも異常なし。
- ・褥瘡の局所所見は感染徴候がなく、黄色壊死組織が浮遊している状態。

【活動場面②】



ストーマと離開創が近く、便が漏れて発赤を生じ、創傷治癒遅延を生じるリスクがある。陰圧閉鎖療法と併用することで、便漏れを生じることなく、創収縮が図れた。また、定期的に2回/週交換できストーマ管理による皮膚障害が予防できた。

<手順書の対象とする範囲内で実施可能>

- ・意識状態の変化がなく、バイタルサインが安定し、創傷以外の急性疾患の合併がない。
- ・創部に感染徴候(創周囲の発赤・腫脹・熱感・排膿・発熱)、出血傾向がない(抗凝固剤治療投与なし)。
- ・臓器との交通がなく、創面が壊死組織で覆われていない(良性肉芽20%以上)。

1. 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
2. 創傷に対する陰圧閉鎖療法
3. 創部ドレーンの抜去
4. 脱水症状に対する輸液による補正
5. 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

これまでの皮膚・排泄ケア認定看護師としてのケア

- 陰圧閉鎖療法を医師へ依頼
- 医師に合わせて看護師と時間を調整

特定看護師+皮膚・排泄ケア認定看護師としてのケア

- 医師に相談後、「手順書」をもとに、その場で「褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去」「陰圧閉鎖療法」をタイムリーに実施可能

【特定行為研修とは】

チーム医療のキーパーソンである看護師が、在宅を含む医療現場において高度な臨床実践能力を発揮できるよう、自己研鑽を継続する基盤を構築するものです。

※1手順書とは：医師又は歯科医師が看護師に診療の補を行わせるために、その指示として作成する文書。

※2特定看護師：厚生労働省に登録した施設で教育を受け、1行為でも終了した看護師。

※3診療看護師：大学院で教育を受け、38行為21区分の特定行為大多数を終了し、さらにそれ以上の医行為も行う看護師。5年毎の更新制。

- 特定看護師受講条件 → 3~5年以上の実務経験。
- ★看護協会では、2020~新たな認定看護師研修が開始されます(特定+認定)。
 - 認定看護師資格がある方は、受講期間が短縮できます。
 - ★研修先により、認定看護師でなくても受講できます。



特定行為研修では、チーム医療のあり方や、病態・薬剤についても学べ自己の視野が広がります！